

## 授業中の様子

学習用パソコン上の地形図に、Wordのペンツールを利用して「尾根線・谷線」を書き入れる課題の確認がなされます。

続いて、同じ地形図を使って、「集水域」の色塗り作業を行わせます。

ペンツールで書き込みを行う際など、各種操作の習熟度の高さや、熱心に学習に取り組む姿が印象的でした。

### ■ 個別学習 ■



紙媒体にマーカーペンなどで書き込ませる従来の方法と比較して、手間がかからず修正も容易

国土地理院ホームページにある新旧の航空写真やGoogle Earthを利用して地形のイメージを分かりやすくします



### ■ 一斉学習 ■

地理の授業では、電子黒板が活躍するシーンが特に多いということでした。解説の際には、電子黒板上で書き込みを行ったり、複数の画面を順序等も考えながら、効果的に示したりすることで、生徒たちの理解が深まっているようです。

「盛土」「切土」の説明の際には、現在の学び舎が建設されたときの話を、電子黒板に新旧の航空写真を映し出ししながら説明するなど、興味・関心を持たせる工夫もありました。

### ■ 協働学習 ■



授業の終盤では、学習用パソコンに配布した宅地造成前と造成後の地形図を用いて、自分だったら「盛土」「切土」どちらの土地を購入するかを考えさせる演習を行います。

これまでに得た知識をもとに、まず個人で考察させます。

その後、グループで学習用パソコンを囲んで話し合う協働的な学習のシーンです。

学習用パソコンに配布したデジタルワークシートは、担当の先生が市役所で手に入れたものに手を加えたオリジナルのもの（宅地の標高と等高線が入っています）になります。

生徒たちは、自分の考えを分かりやすく伝えるため、身振り手振りを交えて説明しています。

説明を聞く側の生徒も、熱心に身を乗り出していた姿が印象的でした。

